

(様式3)

目標達成計画

事業所名: まいらいふ燕

作成日: 令和3年 1月 5日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6-(5)	現在、利用者の安全確保という視点から、ナースコールの代わりにセンサーを使用している。利用者の状態に応じた適切な使用になっているかをさらに検討し、身体拘束をしないケアに向けた取り組みを期待したい。	センサーの使用は最小限にし、ナースコールの代わりに使用しないようにする。	無線式のナースコールを新規に購入し、ナースコールの代わりにセンサーを使用しているご利用者様の居室に設置し、効果を検証する。	3ヶ月
2	34-(12-2)	AEDの使い方を含む急変時の対応や応急手当の方法は、介護の専門職として職員一人ひとりがしっかりと身に付ける必要があり、研修会等の学びの機会をこれまで以上に設け実践力の向上に努める必要がある。	ご利用者様が安心・安全な生活を送れるよう、職員一人ひとりが急変時の対応や応急手当についての知識や技術を身に付ける。	消防署にも協力してもらい応急手当の研修を実施する。急変時対応については、マニュアルの内容を練り直したうえで勉強会を行う。	12ヶ月
3	2-(2)	事業所の立地やコロナ禍での対応等で地域住民との交流は難しい面もあるが、事業所が地域の一員としてつながっていけるよう、自治会の地域活動に参加したり、お便りなどを回覧等で情報発信に努めるなど、互いに理解し支え合える関係の構築に取り組むことを期待したい	地域の自治会の会合や地域活動に参加して地域との交流を行う。	コロナ禍が収束し次第、地域会合に参加し、事業所が地域の一員として地域とのつながりを再構築できるようにする。	7ヶ月
4	35-(13)	実際の有事に備えた具体的な地域との協力・連携体制の検討は行われていない。災害の発生は予測できないため、できる限り早い時期に地域の関係者と話し合い、協力体制を構築することを期待したい。	災害時の施設の役割と地域との協力・連携体制を構築する。	運営推進会議や自治会の会合等でこのテーマについて話し合い、災害時の協力・連携体制を構築する。	12ヶ月
					ヶ月

